

平成30年9月18日

大阪府職員労働組合
府税支部豊能分会
分会長 永谷 義浩 様

大阪府豊能府税事務所
所長 楠本 成



平成30年8月24日に提出のありました要求書の項目について、次のとおり回答します。

要求内容	回答
<p>1 分会との労使慣行を遵守し、労使間の確認事項を遵守すること。労働条件等にかかわる業務の変更等については、事前に分会と協議し、協議が整わない場合は実施しないこと。</p> <p>所属する労働組合による不平等取扱いは一切行わないこと。また、労働組合に対する不当な介入・干渉は行わないこと。</p>	<p>1 良き労使関係については、尊重してまいりたい。勤務条件に関わる事項については、所要の協議を行ってまいりたい。</p> <p>また、所属する労働組合による不平等な取扱いや労働組合に対する不当な介入・干渉は行っていない。</p>
<p>2 大阪府当局が過去に行った不当な賃金抑制を改め、給与・一時金を抜本的に引き上げるよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>2 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。</p>
<p>3 府税事務所に勤務するすべての職員に対し、税務職俸給表の適用、もしくは調整額の支給を行うよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>3 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。</p>
<p>4 労働条件を悪化させ、評価者を含む圧倒的多数の職員が資質の向上につながらないとする「相対評価」は撤回すべきであり、「新人事評価制度」の賃金リンクを撤回するよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>4 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。</p>
<p>5 非常勤職員の雇用の継続や給料・労働条件の改善を行うよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>5 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。</p>
<p>6 時差勤務を廃止し、勤務時間を拘束8時間とするよう、関係機関に働きかけること。</p>	<p>6 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。</p>
<p>7 「副主査」選考については、府税業務に必要な研修の参加を反映させるなど、対象者の負担を軽減すること。職務経験や専門性を発揮し、民主的・安定的な行政運営を行うためにも、誰もが行</p>	<p>7 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。</p>

政職4級の水準に到達できるよう、賃金体系の改善を行うこと。

8 「税込確保対策」等による労働強化・管理強化は行わないこと。また、「税込確保重点月間」等を理由とした時間外勤務の強要を行わないこと。

超過勤務を縮減し、府民サービスの向上と労働条件確保のため、人員確保をはじめとする適切な措置を講じること。

9 先般の大阪府北部地震、豪雨における参集実態の教訓を踏まえ、参集方法や参集場所等、効果的かつ合理的な災害対応と、職員の参集時の危険回避のための改善方策を、職員の意見を踏まえて検討すること。また、現在職員の自己負担となっている、交通途絶等によりやむを得ず通勤認定ルートを外れて参集した場合の交通費を支給すること。

10 職員の長時間勤務解消や過重労働防止等、実質的な労働時間の短縮を図る観点から、人事異動などにおいて本人の希望を尊重するなど、適切に対応すること。

11 再任用職員の労働条件等を改善すること。
①給与・一時金の改善を行うよう関係機関に働きかけること。
②再任用職員の福利厚生を再任用以外の職員と同等にすること。また、人間ドック受診に補助金制度を創設するよう関係機関に働きかけること。
③週休日に勤務を命ずる場合、通勤にかかる交通費が支給されていないため、交通費を支給するよう、関係機関に働きかけること。

12 VDT作業における職員の健康管理体制の充実と作業環境の整備を行うこと。また、VDT特別健康診断の充実と全員受診体制を確立するよう、関係機関に働きかけること。

13 記録的な猛暑が続いており、下記のとおり熱中症対策・職員の健康管理、執務環境の改善を行う

8 「税込確保対策」は極めて重要な課題であり、課内会議等を適宜開催する等、職員間の意思の疎通を図りながら推進してまいりたい。皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

その他については、要求の趣旨を本庁に伝えてまいりたい。

9 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。

10 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。

11 要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。

12 VDT作業については、職員健康診断実施要綱に基づきVDT作業従事職員特別健康診断が実施されているところ。

要求の趣旨は、本庁へ伝えてまいりたい。

13 冬季の暖房及び夏季の冷房対策については、職員の健康に配慮して、これまでも適切な温度管理に努

こと。また、冬季についても能率的な職務と職員の健康管理のため、空調の弾力的運転と空調機器の整備を徹底すること。

①室温28℃を徹底し、職員が快適に執務できるようにすること。

・室温28℃は冷房の設定温度ではないことを踏まえ、全体の室温が28℃となるようにすること。

・冷房は勤務時間の30分前には運転を開始し、勤務時間終了時まで切らないこと。

・職員がやむを得ず時間外勤務を行う場合は冷房を運転すること。

②職員が自由に水分補給等できるように、必要に応じて休息が取れるよう徹底すること。

めてきたところであるが、今後とも留意してまいりたい。

職員の水分補給等については、職員の健康管理に留意しながら適切に対応してまいりたい。

